医学部医学科の教育理念・目標

医学部医学科は、ポンペの言葉「医師は自らの天職をよく承知していなければならぬ。ひとたびこの職務を選んだ以上，もはや医師は自分自身のものではなく，病める人のものである。もしそれを好まぬなら，他の職業を選ぶがよい。」を建学の基本理念とし，卒業生に以下の学修成果を身につけることを教育目標としています。

・豊かな人間性と高い倫理観を持ち，良好な人間関係を構築できる能力
・医学・医療の基本的知識と技能を有し，チームの一員として診療に参加できる能力
・医科学領域における課題探究・解決能力を有し，論理的思考ができる能力
・グローバルな視点を有し，地域社会および国際社会に貢献できる能力

この教育目標を達成すべく，以下に挙げる３つのポリシーに基づいた学士課程教育を行います。

医学部医学科のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を修得し，

1, 豊かな人間性

長崎大学医学部医学科学生は、豊かな人間性を身につけ、患者の心理に寄り添い、多職種と協調して良好なチーム医療を実践する事ができる。

1. 患者の権利と人格を尊重し、良好な関係を築くことができる。
2. 多職種と良好な人間関係を構築し、チーム医療を実践することができる。
3. 医師の職責の重要性を理解し、高い倫理観に基づき、医師として責任のある行動をとることができる。

2, 医学的専門性

長崎大学医学部医学科学生は、医学・医療の専門的知識を有し、総合的理解に基づいて課題を探求し、適切に解決できる。

1. 医学の基盤となる基礎医学と臨床医学の知識を修得し、疾患の病態を理解し、説明できる。
2. 患者の症候・病態を理解し、適切な診療計画の立案とプレゼンテーションができる。
3. 社会医学の知識を修得し、人々の疾病を予防し、健康を維持・増進する方策を説明できる。

3, 科学的思考

長崎大学医学部医学科学生は、医学研究の必要性を理解し、研究に参加すると共に、論理的かつ独創的な思考ができる。

1. 医学研究の意義や重要性を理解している。
2. 論理的かつ医学的創造性に基づいた思考や発想ができる。
3. 既存の医学と医療を更に進歩させるため、科学的研究に取り組む事ができる。

4、長崎医学に基づく国際性と地域性

長崎大学医学部医学科学生は、長崎の医学史を理解し、多角的な視点に基づいて国際社会と地域社会に貢献することができる。

1. 長崎の歴史を理解し、利他的精神および平和の希求に基づいた行動ができる。
2. 多様化を伴う国際社会において、他国の医師や医学研究者と協働し、リーダーシップをとる事ができる。
3. 地域社会の多様なニーズに応える思考と態度を身につけて行動できる。

と認められた者に対し，学士(医学)の学位を授与します。

医学部医学科のカリキュラム・ポリシー

長崎大学のカリキュラム・ポリシーに沿って， 医学部医学科生が体系的かつ主体的に学修できるように教育課程を編成し， これに従って教育を行います。

全ての科目で，全てのディプロマ・ポリシーを，学年を経るごとに，基本的なレベルから高度なレベルまで段階的に学びます。

- 入門科目で，医学に関連する基礎的知識を学びます。
  学修の到達度は，主に筆記試験やレポートにより評価します。
- 専門基礎科目で，卒業時学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す基本的知識・技能・態度を学びます。
  学修の到達度は，主に筆記試験やレポートにより評価します。
- 専門科目で，卒業時学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す高度な知識・ 技能・態度を学びます。
  学修の到達度は，主に筆記試験やレポート，シミュレーションテスト，観察記録などにより評価します。
- 発展的専門科目で，学修成果を達成するためにディプロマ・ポリシーに示す，知識・技能・ 態度の統合的実践能力を養います。

学修の到達度は，主に授業への参加度や実地試験，振り返り，レポート，観察記録などにより評価します。

- 他専攻との共修科目により，医療・保健・福祉の多職種連携・協働のあり方を学ぶとともに，必要な協調性やリーダーシップを養います。
  学修の到達度は，主に観察記録やレポートを通して評価します。
- 医と社会について学ぶ科目により，医療・保健・福祉と社会の関係や倫理観，良好なコミュニケーションの構築などについて主体的に考える力を養います。
  学修の到達度は，主に授業への参加度により評価します。
- 長崎の医学史や国際社会に関する科目により，利他的精神および平和の希求に基づいた行動ができるとともに，多角的な視点に基づいて国際社会に貢献できる能力を養います。
  学修の到達度は，主に授業への参加度やレポート，観察記録，実地試験により評価します。
- 地域医療に関する科目により，地域に根差した医療を実践し，地域社会に貢献できる能力を養います。
  学修の到達度は，主に授業への参加度やレポート，観察記録，実地試験により評価します。

科目に関する別表

資質等＼科目等		入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展的専門科目
主として養われる資質	豊かな人間性	医学史・原爆医学と長崎	医と社会 医学総合セミナー	医と社会 診療の基本 医学総合セミナー	臨床実習
	医学的専門性	医科生物学入門 医学統計学 医と社会	正常構造と機能 疾患総論 医と社会	正常構造と機能 疾患総論 疾患各論 診療の基本	臨床実習
	科学的思考	医科生物学入門 医学統計学	基礎研究実習 医学総合セミナー	基礎研究実習 医学総合セミナー 診療の基本	基礎研究実習
	長崎医学に基づく国際性と地域性	医学史･原爆医学と長崎	医学総合セミナー 医学英語	医学・医療と社会 医学総合セミナー	臨床実習

医学部医学科のアドミッション・ポリシー

医学科では入学者に以下の資質・素養を求めます。

- 入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
  医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
  専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- 医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナリズムを認知して，強い目的意識と高い志を持つ。また，その実践のために必要な思考力，判断力を有する。
- 生命の尊厳を重んじ，高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- チーム医療への貢献のために必要な協調性，コミュニケーション能力，リーダーシップと強い責任感を有する。
- 広く生命科学分野への探求心を有し，さらに，社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- 地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表（求める資質等の評価方法とその比重（特に大きい比重:◎, 大きい比重:○））

選抜方法等		求める資質等（学力の３要素）	基礎学力（知識・技能）	読解力・表現力（知識・技能）（思考力等）	コミュニケーション能力（思考力等）	思考力・判断力・表現力（思考力等）	態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心（主体性等）
一般選抜	前期日程	共通テスト	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		調査書					○
		面接			◎		◎
学校推薦型選抜Ⅱ		共通テスト	◎	◎		○	
		小論文（学校推薦型選抜ⅡＢのみ）	○	○	○	◎	○
		推薦書	○			○	○
		志望理由書				○	○
		調査書	○				○
		面接			◎		◎
外国人留学生選抜		日本留学試験	◎	○		○	
		個別学力検査	○	◎		◎	
		面接			◎		◎